結核しずおか

54号 2024年4月26日

発行・編集
公益財団法人　静岡県結核予防会
〒420-0915
静岡市葵区南瀬名町 6-20
TEL 054-261-2512
FAX 054-261-9474
Eメール tb-shizu.ha@gaea.ocn.ne.jp
HP　www.jata-shizuoka.org

巻頭言

本年４月１日に静岡県感染症危機管理担当部長に就任いたしました。当役職は、令和６年度に健康福祉部に新設され、感染症対策の総括を行います。関係機関の皆様におかれましては、結核対策を始め、県の健康福祉行政に御理解、御協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

世界で猛威を振るった新型コロナウイルス感染症については、昨年５月から５類感染症に移行し、本年４月からは通常の医療体制に移行しました。

県では、引き続き新型コロナウイルス感染症の動向を注視してまいりますが、新興感染症や従来からの感染症も含めて、県総合計画「静岡県の新ビジョン　後期アクションプラン」や、昨年度末に策定した「第９次静岡県保健医療計画」及び「静岡県感染症予防計画」をはじめとする新しくなった各分野別計画に基づき、安心医療の提供と健康寿命日本一を目指し、各種施策の推進をさらに加速させてまいります。

さて、本県における結核登録者数は、結核予防対策の取組に加え、生活水準の向上、医療技術の進歩により、2022 年までは減少の傾向にありました。2022 年の結核新登録者数は 241 人であり、結核り患率については、人口 10 万人当たり 6.7 と、全国における結核り患率 8.2 と比べ、低い数値を維持しています。しかし、速報値ではありますが、本県の 2023 年の結核新登録者数は 281 人と増加を見込んでいます。これには、コロナ禍に徹底されていたマスク着用、換気等による飛沫感染・エアロゾル感染対策が、昨年３月から自主判断とされたことなど、いくつかの原因が考えられますが、この結核患者の再増加が続くのかどうか、特に注視してまいります。

また、患者の６割以上を占める高齢者への対応を始め、コロナ禍が終わり海外からの入国者及び技能実習生等が再増加する中での外国人患者や多剤耐性結核患者への対応強化、診療・治療に精通した医療従事者の減少と結核病床の地域的な偏在など、課題はますます多様化・複雑化しています。

これらの様々な課題について、県では、保健所を中心として、医療機関等の関係機関と緊密に連携し、健診の勧奨に加え、治療を中断しやすい高齢者・外国人の患者に対する確実な服薬支援を推進するなど、結核の根絶に向けた取組を進めてまいります。

さらに、結核に対する正しい知識の啓発、医療従事者を対象とした研修会などを継続して実施し、早期発見や治療完逐の１００％達成を目指してまいります。

県民の皆様が、生涯を通じて「健やか」に、「幸せ」を実感しながら暮らし続けることができるよう取り組んでまいりますので、関係の皆様方には、引き続き、御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

静岡県健康福祉部　感染症危機管理担当部長　後藤　雄介

日本宝くじ協会助成事業により
乳がん検診車導入

検診車の仕様について

車両
- 車種　日野レンジャー
- サイズ　長さ　：899cm
　　幅　　：234cm
　　高さ　：344cm

検診機器
- 撮影装置　富士フィルム社製
　　AMULET　ELITE

令和６年１月22日（月）日本宝くじ協会助成事業によるマンモ検診車の納車日を無事迎えることが出来ました。この日を迎えるにあたり関係各所の皆様にはご支援、ご協力を賜り心より感謝いたします。

Q おすすめポイントを教えて!!

より快適に、より便利に

今回巡回用に導入した検診車は、車載型としての導入は全国で２台目となる富士フィルム社製マンモ撮影装置を搭載しています。撮影装置は直接変換方式ＦＰＤ最小画素サイズ 50 μｍにより、微小石灰化などを高精細に抽出してより一層病変等の発見に貢献します。

あなたに夢を。宝くじ　街に元気を。

クーちゃん

<作製担当者より>

このたび、関係各所のお力添えをいただき、このように、新たな検診車の整備導入ができましたこと、あらためまして厚く御礼申し上げます。また、平素、当会の検診事業へのご理解、ご協力を頂戴しております各種検診の受診者のみなさまへの思いを形にいたすべく、作製内容には、当会職員によるさまざま工夫･考察が盛り込まれております。みなさまのお役にたてれば幸いと存じます。

今後とも、職員一同健康で明るい社会を創造する架け橋となれるよう日々励む所存でございますので、変わらぬご愛顧のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

検診課：榊原智子　業務課：北谷内里美

2024年4月から特定健診・特定保健指導が変更となります。

特定健診の変更ポイント

特定健康診査の見直し

基本的な健診の項目

血中脂質検査における中性脂肪において、やむを得ず空腹時以外で中性脂肪を測定する場合は、食直後を除き随時中性脂肪による血中脂質検査を可とした。

標準的な質問票の見直し

喫煙や飲酒に係る質問項目については、より正確にリスクを把握できるように「喫煙」は「生涯非喫煙者」と「過去喫煙者」、飲酒は「飲まない(飲めない)」「やめた」について区分が変更され詳細な選択肢へ修正した。
また、特定保健指導の受診歴を確認する質問項目を「保健指導の受診希望調査」から「保健指導の受診歴確認」へ修正した。

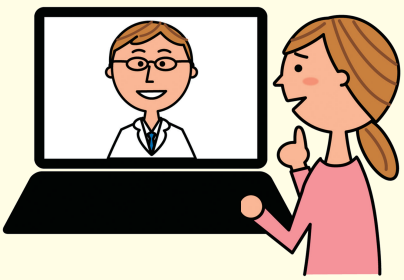
質問項目（変更後）	回答（変更後）
現在、たばこを習慣的に吸っていますか。 ※「現在、習慣的に喫煙している者」とは、条件1と条件2を両方満たす者である。 条件１：最近1ヶ月間吸っている 条件２：生涯で６ヶ月間以上吸っている、又は合計100本以上吸っている	①はい（条件1と条件2を両方満たす） ②以前は吸っていたが、最近1ヶ月間は吸っていない（条件2のみ満たす） ③いいえ（①②以外）
お酒（日本酒、焼酎、ビール、洋酒など）を飲む頻度はどのくらいですか。 （※「やめた」とは、過去に月1回以上の習慣的な飲酒歴があった者のうち、最近1年以上酒類を摂取していない者）	①毎日 ②週5～6日 ③週3～4日 ④週1～2日 ⑤月に1～3日 ⑥月に1日未満 ⑦やめた ⑧飲まない（飲めない）
飲酒日の1日当たりの飲酒量 日本酒1合（アルコール度数15度・180ml）の目安：ビール（同5度・500ml）、焼酎（同25度・約110ml）、ワイン（同14度・約180ml）、ウイスキー（同43度・60ml）、缶チューハイ（同5度・約500ml、同7度・約350ml）	①1合未満 ②1～2合未満 ③2～3合未満 ④3～5合未満 ⑤5合以上
生活習慣の改善について、これまでに特定保健指導を受けたことがありますか。	①はい②いいえ

特定保健指導の見直し

評価体系の見直し

特定保健指導の実績評価にアウトカム評価を導入し、主要達成目標を腹囲2cm減・体重2kg減とし、生活習慣病予防につながる行動変容（食習慣の改善、運動習慣の改善、喫煙習慣の改善、休養習慣の改善、その他の生活習慣の改善）や腹囲1cm減・体重1kg減をその他目標として設定した。

プロセス評価は、介入方法により個別支援（ICT 含む）、グループ支援（ICT 含む）、電話、電子メール等とし、時間に比例したポイント設定ではなく、介入1回ごとの評価とした。支援Aと支援Bの区別は廃止した。また、ICT を活用した場合も同水準の評価とした。特定健康診査実施後の特定保健指導の早期実施を新たに評価することとした。



特定保健指導の初回面接の分割実施の条件緩和

特定保健指導の初回面接は、特定健康診査実施日から1週間以内であれば初回面接の分割実施として取り扱えるよう条件を緩和することとした。

令和５年度普及啓発活動の報告～通常の活動が戻り久しぶりの開催～

静岡県中部保健所 地域医療課の取組紹介

９月１９日から９月２９日まで「結核予防週間」にあわせ、藤枝総合庁舎本館１階正面玄関に展示がされました。結核の常識2023をベースに結核の病態や感染方法等を周知した掲示と、結核の常識2023のイラストが風船であったため、風船アートでシールぼうやを作成しました。

当会の活動風景

新型コロナウイルス感染症の位置づけが、令和５年５月８日から「５類感染症」になり、さまざまなイベントで普及啓発活動が実施されました。

9/ 17（日） 静岡市ふれあい健康増進館ゆらら健康まつり

静岡市ふれあい健康増進館ゆららは、県民の健康増進・生涯スポーツやコミュニティーの形成を通し、健やかで文化的な生活の質の向上に寄与することを目的とした施設です。健康まつりに参加し、結核・肺がん検診と普及啓発活動を実施しました。

9/ 23（土） おやま健康フェスタ＆ふれあい広場

小山町健康フェスタ＆ふれあい広場が２年ぶりに開催となりました。関連団体が多数参加し、来場者も多く賑わいました。

9/30（土）
アピタ静岡店結核予防週間啓発

アピタ静岡店にて、静岡県、静岡市職員、静岡県イメージキャラクター「ふじっぴー」と啓発活動を実施しました。この活動は新型コロナウイルス感染拡大により中止が続き、３年ぶりの開催となりました。

10/28（土）
伊豆市社会福祉大会

伊豆市結核予防婦人会と共に**「シールぼうや」**と、伊豆市社会福祉大会に参加しました。多くの市民と触れ合う貴重な時間となりました。

11/23（木）
浜名湖競艇場

浜名湖競艇場にて開催された**「にっぽん未来プロジェクト競走 in 浜名湖」**において、日本財団様より助成を受けて作製した胸部検診車にて、来場者に向けて結核の無料レントゲン検診と啓発活動を「シールぼうや」も参加して実施しました。

2/1（木）～2/4（日）
静岡競輪場

静岡競輪場にて開催された**「たちあおい賞争奪戦」**の開催される期間において、公益財団法人 JKA 様から補助をいただき作製した胸部検診車の展示と、啓発活動を実施しました。

総務課　鈴木

結核予防会　書籍のご案内

「保健師・看護師の結核展望122号」

2,090 円（税込）

～特集～

- 結核低まん延化水準達成の動向と今後の対策
- ポストコロナの DOTS カンファレンス

注文・お問い合わせ先

公益財団法人静岡県結核予防会（総務課）

TEL:054-261-2512　FAX:054-261-9474

E-mail　tb-shizu.ha@gaea.ocn.ne.jp

URL　http://jata-shizuoka.org

そのほかにも書籍を
そろえております

くわしくはこちらへアクセス

「結核の統計2023」

3,300 円（税込）

病院や保健所をはじめ看護・保健師学校・医学系大学に備えておきたい1冊！
保健衛生行政関係者はもとより医師・学生の方などにもご活用いただけます。

令和５年度実績報告

複十字シール募金にご協力ありがとうございます。

募金総額

4,415,394円

結核予防会では、結核を中心とした胸の病気をなくして、健康で明るい社会をつくるための「複十字シール運動」を実施し、募金活動を行うとともに、病気への理解を広め、予防の大切さを伝えています。

「複十字シール募金」の活動は、結核予防会並びに各都道府県の結核予防会支部を窓口として行われています。

お預かりした募金は、結核や肺がん・COPD（慢性閉塞性肺疾患）などの胸の病気の普及啓発、全国の結核予防団体の事業支援、開発途上国の結核対策支援、結核等の調査研究の活動に大切に活用させていただいています。

令和５年度も、皆様のあたたかい善意にささえられ大きな実績を得ることができました。心から感謝申し上げますとともに、今後も変わりないご協力をお願いいたします。

総務課　大澤

富士山写真提供：静岡県観光協会　題字：田中　隆（元当会職員）